

議会報告会 会場報告書

担当班：2班 班代表者：恒田正美

概要			
地区名：岡野地区 日時：平成28年11月14日（月） 19:30～20:40 場所：岡野コミュニティセンター （岡野文化会館） 参加人数：20人（男20人・女0人）	【出席議員】 恒田正美 河南克典 足立義則 前田えり子 栗山泰三 大西基雄	(1) 開会あいさつ：恒田正美 (2) 議会報告：足立義則 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：栗山泰三	挨拶・総括：恒田正美 司会進行：河南克典 報告：足立義則 受付・記録：前田えり子 栗山泰三 会場（マイク）：大西基雄

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・認定こども園に通う子どもと幼稚園に通う子どもでは、教育内容に差があるのではないかと。また、認定こども園の園児数が多いのに対し、幼稚園へ通う園児数は数人である。幼稚園の園児数が少ないこと、及び認定子ども園との違い等について、どのように捉えているのか。また、幼稚園の将来像をどのように描いているのか。	・幼稚園に通う子どもは少なく、小学校へ入学した際、認定こども園に通った子どもたちと比較して、集団生活に慣れにくいことも想定されます。議員間においては、幼稚園の統合も視野に入れた考え方も必要ではないかとの意見もあります。
・政務活動費を廃止している・未導入の自治体が多くあり、本市も政務活動費を廃止してはどうか。廃止出来ないのであれば、調査・研修等の結果が確認出来た場合に支払われる後払い制度にしてはどうか。	・持ち帰り、議会改革調査特別委員会の中で検討していきます。

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの利用が少ない。丹波市柏原町で定着している乗合タクシーを参考に、予約制の乗合タクシーを運行してはどうか。また、そのことにより生じる経費の差額を利用して、東雲高等学校のスクールバス運行をしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行を含む公共交通については、現在、見直しを検討中です。なお、現在運行中のコミバスは、大芋地区の1ルートに1時間かかっていることから、乗合タクシーを運行する方向で進んでいます。本市の公共交通制度は大きく変わろうとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・神戸大学・篠山市農村イノベーションラボに参加している方たちが篠山市に根付いた起業が出来ているか等、議会としても、その都度点検し、見届けてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、会派で現地調査の予定をしています。議会としても注視していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミセンのエレベーター設置は、計画的に順次行っていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、全体計画はなく個別に対応しています。
<ul style="list-style-type: none"> ・篠山産業高校丹南校跡地について、施設の運営等に市はどのように関わっていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人ウエルライフが建物の賃料月額 40 万円を負担し、運営されます。地元のまちづくり協議会との共存に関する調整は行政が行います。
<ul style="list-style-type: none"> ・市道城西線について、市内には歩行者がほとんどないにもかかわらず、とても明るい。対して、デカンショ祭時等は、歩行者が多いのに暗く、矛盾を感じる。また、歩道の石畳は、地域住民がベビーカーを押して通る際、ガタガタとして歩きづらい。きれいにすることと安全にすることは違うことを念頭に置いて、地域住民が安全に通行できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち帰り、執行部にお繋ぎします。